

- | | |
|-----|--|
| 問1 | 1955年に広島で開催された、核兵器禁止を求める大規模な大会を何という？ |
| 問2 | 1973年の第四次中東戦争を背景に、原油価格が急騰し世界経済に打撃を与えた出来事を何という？ |
| 問3 | 高度経済成長期に、企業の生産活動が原因となって引き起こされた、大気汚染や水質汚濁などの環境破壊を何という？ |
| 問4 | 1955年以降、日本で自由民主党と対抗する野党として長らく存在した政党は何という？ |
| 問5 | 1950年代半ばから1970年代初めにかけて、日本の主力産業となった鉄鋼や機械などの産業分野を何という？ |
| 問6 | 鳩山一郎内閣が1956年にソ連と調印し、これにより日本は国際連合への加盟が実現した宣言を何という？ |
| 問7 | 1950年代半ばから1970年代初めにかけて続いた、日本経済が急速に成長した時期を何という？ |
| 問8 | 1955年、保守的な政党が合流して結成され、以降長く政権を担うことになった日本の政党を何という？ |
| 問9 | 第二次世界大戦後、日本を占領し、民主化改革を主導した連合軍の機関をアルファベットで何という？ |
| 問10 | 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が対立した国際情勢を何という？ |
| 問11 | 1955年にアジア・アフリカ諸国が団結し、インドネシアで開催された会議を何という？ |
| 問12 | 1950年代半ばから1970年代初めにかけての、日本経済が飛躍的に発展した期間を何という？ |
| 問13 | 第二次世界大戦後、アメリカ軍の統治下に置かれていたが、1972年に日本へ施政権が返還された地域を何という？ |
| 問14 | 1989年にアメリカとソ連の首脳が会談し、冷戦の終結を世界に向けて宣言した出来事を何という？ |
| 問15 | 1947年に実施され、引揚者の帰還などにより戦後直後の日本国内で急増した人々の数を把握するために行われた調査を何という？ |
| 問16 | 1960年に多くのアフリカ諸国が相次いで独立し、国際連合への加盟国が急増したことを何という？ |
| 問17 | 1980年代に日本との間で、工業製品の輸出をめぐる経済対立の主な原因となった製品は何？ |
| 問18 | 1956年に日本とソ連が署名し、戦争状態を終結させ、国交を正常化させた宣言を何という？ |
| 問19 | 第二次世界大戦後、アメリカとともに冷戦の中心となった社会主義国家はどこ？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 第1回原水爆禁止世界大会	その機運の高まりを受けて、1955年に広島で「第1回原水爆禁止世界大会」が開催されました。被爆地である広島に世界中の人々が結集し、核兵器の使用禁止と平和な世界の構築を訴える画期的な出来事となりました。
問2	答え 石油危機	1973年に第四次中東戦争が発生すると、OPEC（石油輸出国機構）が石油の輸出を制限し、価格を急激に引き上げました。これを受けて日本国内でも買い占め騒動が起き、物価が急上昇して「狂乱物価」と呼ばれる状況となりました。
問3	答え 公害問題	水俣病や四日市ぜんそくなど、地域住民の健康に多大な被害を与えました。人々は企業の責任を追及する運動を起こし、行政や司法も動きました。
問4	答え 日本社会党	1955年に統一された日本社会党は、自由民主党と対峙し、二大政党制に近い政治構図を形成しました。憲法改正反対や労働者の権利擁護などを訴え、国会内で一定の議席を維持して政権批判を行いました。
問5	答え 重化学工業	重化学工業とは、鉄鋼、石油化学、自動車、機械など、原材料を加工して製造する産業の総称です。それまでの繊維産業を中心とした構造から転換し、大量生産・大量消費の時代を支えました。この時期の日本は世界有数の経済大国へと成長を遂げました。
問6	答え 日ソ共同宣言	鳩山一郎首相がモスクワに渡って署名した「日ソ共同宣言」により、両国の戦争状態は終結し、外交関係が正常化されました。この宣言によって、日本は国際社会の一員である国際連合への加盟が正式に認められ、日本外交が世界的に展開される道が開かれました。
問7	答え 高度経済成長	技術革新や設備の近代化が進み、鉄鋼・自動車・電機などの産業が急成長しました。この時期、東海道新幹線の建設などのインフラ整備も進められ、国民の所得や生活レベルが目に見えて向上しました。
問8	答え 自由民主党	1955年、鳩山一郎らの主導で自由党と日本民主党が合併し、自由民主党が結成されました。これに対抗して社会党も統一されたことで、自民党が圧倒的に強い「55年体制」と呼ばれる政治構造が完成しました。
問9	答え GHQ	GHQ（連合国軍総司令部）は、マッカーサー最高司令官のもとで、戦前の軍国主義を排除し、農地改革や教育改革、労働組合の結成などの民主化政策を強力に推進しました。
問10	答え 冷戦	両国は直接的な軍事衝突（熱戦）は避けつつ、世界各地での勢力争いや軍拡競争を行いました。核兵器の保有による「恐怖の均衡」が保たれていたため、第三次世界大戦は回避されました。
問11	答え バンドン	1955年、インドネシアの都市バンドンにおいて、アジアとアフリカの29カ国が集まり「アジア・アフリカ会議」が開かれました。植民地主義に反対し、新興独立国の団結を世界に示しました。
問12	答え 高度経済成長期	この時期、日本は驚異的なスピードで国内総生産（GDP）を伸ばしました。国民の収入が上がり、豊かな生活を目指して家電製品などの大量生産と大量消費が進みました。
問13	答え 沖縄	サンフランシスコ平和条約でも日本から切り離され、長らくアメリカの統治が続きました。沖縄の人々による返還運動が広がり、1972年によりやく日本への施政権が返還されました。
問14	答え マルタ会談	1989年12月、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が、地中海のマルタ島で会談を行いました。この会談で両首脳は冷戦の終結を相互に確認し、国際社会に発表しました。
問15	答え 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問16	答え アフリカの年	1960年だけで17カ国がヨーロッパ諸国の植民地から独立を達成しました。これにより国際連合における加盟国の数も大幅に増加し、アジアやアフリカの国々が国際政治において強い発言力を持つようになりました。
問17	答え 自動車	特に日本の自動車は、品質と燃費の良さから海外で飛躍的に売れ行きを伸ばしました。この急激な普及により、輸出先国では国内メーカーとの競合が激化し、雇用への影響を懸念した相手国との間に深刻な経済的対立が生じました。
問18	答え 日ソ共同宣言	1956年、鳩山一郎内閣のもとで日ソ共同宣言が署名されました。これにより、日本とソ連の戦争状態が法的に終了し、国交が回復しました。さらに、ソ連が日本の国際連合加盟を支持したことで、同年、日本は国際連合への正式加盟を果たしました。
問19	答え ソ連	アメリカは資本主義と自由主義を、ソ連は社会主義と計画経済を掲げ、世界を二つの勢力圏に分割して競い合いました。これが「冷戦」です。直接戦うことは避けましたが、代理戦争や軍事同盟を通じて世界中が緊迫した状態に置かれました。